

会 議 録

1 会議名

令和2年度第5回安塚区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

○協 議（公開）

（1）地域活動支援事業に係る課題等について

（2）令和2年度活動計画について

○その他（公開）

3 開催日時

令和2年8月25日（火）午後7時から午後7時57分まで

4 開催場所

安塚コミュニティプラザ 3階 大会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委 員：池田裕夫、池田康雄、石田ひとみ、小松光代、新保良一、中村真二
外立正剛、秦克博、松苗正二、松野修、山岸重正、吉野誠一

・事務局：安塚区総合事務所 岩野所長、大橋次長、石川市民生活・福祉グループ長（併
教育・文化グループ長）、村松班長、萬羽主事

8 発言の内容（要旨）

【大橋次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【松苗正二会長】

- ・挨拶

【大橋次長】

本日の会議録の確認は、内規により松苗正二会長にお願いする。

条例第8条第1項の規定により、松苗正二会長から議長を務めていただく。

【松苗正二会長】

3 協議事項（1）地域活動支援事業に係る課題等について、事務局に説明を求める。

【萬羽主事】

令和2年度地域活動支援事業の提案受付及び審査の結果を報告したうえで、資料N o. 1に基づき、地域活動支援事業に係る課題等の記入について説明。

【松苗正二会長】

地域活動支援事業に係る課題等について、事務局から説明があったが、何か質問等あるか。

【吉野誠一委員】

課題等の記入シートに記入し、提出するだけで良いのか。挙げられた課題等について、地域協議会の場で議論する機会はないのか。

【松苗正二会長】

課題等の記入シート提出後に地域協議会の場で議論するという流れで良いか、事務局から説明をお願いしたい。

【萬羽主事】

課題等の記入シートを事務局へ提出いただいた後、事務局で集約を行い、検討すべき課題として挙げられた事項について、地域協議会で協議をお願いしたいと考えている。

【松苗正二会長】

次に協議事項（2）令和2年度活動計画について、事務局に説明を求める。

【萬羽主事】

資料N o. 2に基づき、安塚区地域協議会としての今後の活動予定について説明。

【松苗正二会長】

令和2年度活動計画について、事務局から説明があったが、何か質問等あるか。

（質問なし）

それでは、まず視察研修の実施について、協議を行う。視察研修を実施するかどうかに
ついて、何か御意見のある方はいるか。

【新保良一委員】

私は地域協議会委員を務めるのが初めてで、こういった研修の内容なのか、よく理解できていない。委員経験者の方もいるので、研修に実際に行ってみて、プラスになる点があったかどうか、お聞きしたい。

【松苗正二会長】

委員経験者ということで、6名の中で何か御意見のある方はいるか。

(意見なし)

昨年度は大島区や十日町市の松代へ視察に行っている。大島区では、田麦にある「うしだ屋」を視察した。大島区へ移住されて農家民宿を営んでいるところである。松代では、「貸民家みらい」を視察した。都会から来た方に家を貸して、何日かそこで過ごしてもらう経営をされているところである。5軒ほどの家を扱っていたが、利用率は高く、近所との付き合いもうまくいっているというお話であった。私たちとしては視察に行き、すごくためになったと思っている。今までも色々なところへ視察に行っており、中郷区では地域の中で一生懸命取り組まれている方の活動などを目にして、私たちにとってもためになる経験をさせてもらった。

【新保良一委員】

視察研修の内容は理解することができた。視察に行き、ためになった、勉強になったと感じたうえで、それを安塚区の地域の方に伝える機会があったのか。

【松苗正二会長】

そういった機会を設けることはできておらず、自分の中で肥やしにしたという形である。

【村松班長】

今ほどの新保委員の質問に関してであるが、視察研修後に地域協議会だよりを利用して視察内容についても紹介している。全戸配布し、広く周知を図っているところである。

【新保良一委員】

残念ながら、一般の方には伝わっていない。会を設けて集まってもらおうとしても、なかなか集まらないという問題もあるが、チラシなどの文書で紹介しても、隅から隅まで目を通す方はほとんどいない。

【松苗正二会長】

実行に移せる取組みができていればよいと思うが、自分たちの中に留めてしまってい

る状況である。今年度視察研修を実施する場合は、新保委員にその点も踏まえて検討いただければと思う。

それでは視察研修を実施するかどうか、採決を行う。視察研修を実施した方がいいと思う方、実施しない方がいいと思う方、それぞれ挙手をお願いする。

(「実施しない方がいい」多数)

実施しないが多数となったが、それぞれの意見の理由が大切であると思う。実施しないとした方の御意見を伺いたい。

【吉野誠一委員】

視察研修に行くことで、ためになり、勉強になると思うが、今は特別な年である。ためになることを犠牲にしても、人・団体の移動は避けるべきと考える。

【松苗正二会長】

特別な年というのは、コロナの影響があるという意味で良いか。

【吉野誠一委員】

そのとおりである。

【松苗正二会長】

他に御意見のある方はいるか。

【山岸重正委員】

同意見である。

【松苗正二会長】

それでは続いて、実施するとした方の御意見を伺いたい。池田裕夫委員はいかがか。

【池田裕夫委員】

委員になって最初の年であるので、どういったものか経験したい。リスクを解消できる方法があるのであれば、ぜひ行きたいと思った。

【松苗正二会長】

今ほど池田裕夫委員から御意見があった。事務局からの説明の中では、市のマイクロバスの利用に関して、間隔を開けて座り、定期的に換気をするなどの対策を行うことで、利用可能ということであった。それでも、現在の社会情勢を踏まえて、視察研修の実施は見合わせるということが良いか。

(反対意見なし)

それでは、今年度視察研修は実施しないこととする。

視察研修は実施しないこととなったが、私が前期地域協議会委員を務めている中で、地域活動支援事業について、事業完了後の状況確認を2年ほど前に実施したことがあった。それについて、今年度皆さんで行くというのはどうか。中村委員はいかがか。

【中村真二委員】

地域活動支援事業により備品を購入した団体等の状況確認ということで、前期4年の任期の中で一度確認に行ったことがあった。無理に行かなくてもいいと思うが、確認したい事業があれば行ってもいいのではないかと。

【松苗正二会長】

小松委員はいかがか。

【小松光代委員】

前回、地域活動支援事業の検証ということで確認に行き、補助金を活用して各団体がきちんと事業を行っており、地域の役に立っているということが実感できた。しかし、今のこの状況で行くのはどうなのか。自粛、自粛ばかりでなく、外に出た方が良くとも思うが、難しいところである。地域活動支援事業の検証自体は必要なことであると思う。

【松野修委員】

会長が冒頭のあいさつの中で行野の話をしていたが、地域活動支援事業の一環ということで良かったか。

【松苗正二会長】

これまで行野や朴の木など、地域活動支援事業を実施した各地域を回っている。

【松野修委員】

各委員の参加は強制ではないと思うが、研修という意味も含めて、全部は難しいとしても、どこか最低1箇所を回って、見た感想を述べることで、個々のレベルの向上につながるのではないかと。研修という形で実施してはどうか。

【山岸重正委員】

前回はほとんど全ての事業を見に行ったのではないかと。長時間滞在しなくても良いので、昨年度の事業も含め、見に行くのであれば全て見た方が良くと思う。今年度の事業はいくつも無い。

【松苗正二会長】

前回確認に行った時は、その年度の事業は除いて、前年度までの事業の確認を行った。事業実施中のものもあるため、今年度の事業の確認はできない。昨年度までの事業の中

でこれまで確認に行っていない事業を重点的に見に行くことで良いと思う。

【新保良一委員】

コロナは怖いですが、ぜひやった方が良いと思う。確認に行き、細かい点などで厳しいことを言うと、提案する側は委縮してしまい、今後の地域活動支援事業の申請の減少につながる可能性もあるため、あまり厳しいことは言わない方が良い。

【松苗正二会長】

前回確認した中では、どの事業を適正に実施しており、委員から指導するというような場面はなかった。素晴らしい事業をやっていたと、感謝をする雰囲気であった。採択をした事業は地域協議会で審査をした事業であり、きちんとした内容であるため、その点はあまり心配しなくても良いと思う。

秦委員はいかがか。

【秦克博委員】

今年度視察研修を実施しないということで、地域活動支援事業の確認も今年度は行かなくても良いと思う。

【松苗正二会長】

それでは各委員の御意見をお聞きしたので、地域活動支援事業の視察について、実施するかどうかが採決を行う。実施した方がよいと思う方、実施しない方がよいと思う方、それぞれ挙手をお願いします。

(「実施した方がよい」 多数)

実施するが多数となったので、実施することとして良いか。

【池田康雄委員】

各委員はバスで勝手に行くのか、それとも提案団体の代表者に来てもらって収支の内訳などの説明までお願いするのか。

【松苗正二会長】

収支の内訳などは毎年年度末に行われる報告会で説明をお願いしている。視察については、我々の方で出向いて今の状況を確認して、そこでお話を伺うということである。

【吉野誠一委員】

新任の委員は、昨年度の事業を見に行っても資料もないため、何も分からない。

【池田裕夫委員】

本日配布された事例集に載っている。

【吉野誠一委員】

予算書などはついてないのではないか。そもそも昨年度の事業は、新任の委員にとっては責任外の問題ではないか。

【松苗正二会長】

これは地域協議会委員になられた方の責任という話ではなく、地域活動支援事業で採択されたものが広く地域の役に立っているかどうかを見に行くものである。審査に関わっていなかったのかということではない。補助金をこのようにきちんと使ってもらったんだとか、または、もう少しこういう風にしてもらえると良かったなど、参考にしてもらえればと思う。新たに委員になられた方もいるが、資料も準備して、今日決めて明日行くという話ではない。事前に日程を決定するため、余裕がある中で検討してもらうことも可能である。

【吉野誠一委員】

事前に視察に行くための勉強会をしてから行くということか。

【松苗正二会長】

特に勉強会などを開催する予定はない。勉強会などを開いてもらいたい場合は、吉野委員から意見を出してもらえればと思う。

【吉野誠一委員】

それは協議会で決めることではないのか。個人的に決めて良いのか。

【松苗正二会長】

勉強会を開催する必要はないと思っている。資料は用意されるので、それを見て確認していただければ良い。しかし、その内容の中で分からない点などがあり、お聞きしたいことがあれば協議会の中で聞いてもらったり、事務局に確認してもらいたい。

【吉野誠一委員】

了解した。

【松苗正二会長】

多数決により実施することとなったので、実施する方向でいきたい。時期などについて、事務局の方で次回協議会までに案を準備してもらうことは可能か。

【萬羽主事】

次回協議会の中で、事務局から案としてお示しできるように準備したい。

【松苗正二会長】

委員の皆さんはそれで良いか。

(「はい」の声多数)

【新保良一委員】

1つお願いしたい。9月から10月半ばまでは農繁期であるため、その時期は外してもらいたい。

【吉野誠一委員】

11月ということか。

【新保良一委員】

10月下旬から11月以降でお願いしたい。

【池田康雄委員】

対象については、安塚区の昨年度の9事業の中から事務局が選択するということが良いか。

【松苗正二会長】

事業を選択するというよりも、日程などの案を作成してもらおうということである。

それでは事務局の方で準備をお願いしたい。

続いて三区合同研修の実施について協議する。

【山岸重正委員】

今年度は大島区が幹事であるため、そちらの意向を会長同士で確認した方が良いのではないか。

【松苗正二会長】

三区合同研修について、浦川原区は実施したいという意向である。幹事である大島区は明日の地域協議会の中で協議を行う予定となっている。安塚区は安塚区の意見として、実施すべきかどうかを決定して、大島区へ報告したいと思う。

【吉野誠一委員】

一定の段取りは済んでいるということか。

【松苗正二会長】

段取りというか、持ち回りで毎年幹事を務めており、例年実施する方向であるが、今回は特別な状況であるため、協議を行うということである。

【吉野誠一委員】

協議するにしても、安塚区としては実施する方が良いと思っている、あるいは実施しない方が良いと思っているという意思を示して協議した方が良いのではないか。

【松苗正二会長】

それで今回安塚区としての意向を決定するため、協議により決めたい。

【池田裕夫委員】

昨年度までの実績として、時間や内容などを教えてもらいたい。

【松苗正二会長】

4年前は浦川原区担当で地域協議会を題材として、大学の方を講師として講演会が開催された。昨年度も同様の内容で、地域協議会についての講演であった。3年前は大島区担当で村山市長からの中山間地についての講演であった。2年前は安塚区担当で陸上自衛隊の群長を講師として講演会が開催された。各年度とも講演会終了後に懇親会が行われており、夕方に開催されている。

【村松班長】

昨年度は浦川原コミュニティプラザを会場として開催され、大阪市立大学の方を講師としてお招きしている。この方は何回か大浦安の方に来ていて、地域の実情も御存知であり、連携することの必要性について講演をいただいた。

【新保良一委員】

平日開催か。

【村松班長】

平日に開催している。

【松苗正二会長】

他に御意見はあるか。

【中村真二委員】

個人的には今回は開催しなくて良いと思うが、大島区が幹事ということで、大島区が実施するというのであれば実施しても良いのではないか。

【松苗正二会長】

他に御意見はあるか。

【外立正剛委員】

講演を聞くことで、どれだけためになるか疑問に思う。皆が揃って話をする事自体

は良いことだと思うが、今回はコロナの関係で自粛した方が良いと考えている。

【松苗正二会長】

他に御意見はあるか。

【岩野所長】

今回は各区の意向を問われているところで、結果を集約して大島区の方で最終的に判断することとなる。通常であれば、講演会の後、懇親会を行っている。講演会の実施の可否、懇親会の実施の可否、それぞれについて安塚区地域協議会としての意向を協議により決めていただきたい。安塚区地域協議会として、なぜそのように判断をしたのか、先ほどの視察研修と同様に理由をつけて大島区へ報告していただければと思う。

【松苗正二会長】

岩野所長が言われたように、実施すべきでないとした場合はその理由を示す必要がある。懇親会については、三区合同研修会の実施について決定した後に判断することとしたい。

三区合同研修会について、実施した方がいいと思う方、実施しない方がいいと思う方、それぞれ挙手をお願いします。

(「実施した方がいい」多数)

実施するが多数となったため、実施すべきとして報告することとしたい。続いて、懇親会の実施の可否について採決を行う。

【山岸重正委員】

懇親会の参加についてはいつも各自の自由であった。

【新保良一委員】

参加は自由であるとしても、会場への移動は皆一緒ではないのか。

【松苗正二会長】

事務局から説明をお願いしたい。

【村松班長】

最終的に参加者の人数が確定次第、車の手配を行うため、場合によっては車を分けて何台かで移動することとなる。

【新保良一委員】

先ほど山岸委員が言われたのは、懇親会ではなく、研修会の参加も各自の自由ということか。

【山岸重正委員】

幹事である大島区の方で研修会の内容を検討次第、出欠の確認が行われると記憶している。

【新保良一委員】

幹事の大島区も今回懇親会は実施しないと判断すると思うが、もし実施すると言っても、会場への移動は皆一緒ということで、安塚区は参加しない方が良いと思う。

【松苗正二会長】

安塚区地域協議会の総意として、三区合同研修会に参加するかどうか、今回決定するが、追って出欠確認が行われるため、当然当日都合がつかない方は欠席でも問題ない。参加を強制するものではない。懇親会に実際に参加するかどうか個人自由である。

新保委員から懇親会は参加しない方が良いとの御意見があったが、ほかに御意見はあるか。

【山岸重正委員】

結局参加は自由であるので、今決める必要はないのではないかと。

【岩野所長】

今求められているのは、三区合同研修会を実施すべきか否かである。安塚区地域協議会として、研修会が実施されても参加しないということではなく、実施すべきかどうかについて、安塚区地域協議会としての総意を大島区に示していただければ良い。

【吉野誠一委員】

私は安塚区地域協議会の一員として、今回三区合同研修会は実施しない方が良いと思っている。実施したければ、浦川原区と大島区で実施してもらえば良いと思っている。当然、今の時代に懇親会は実施してはいけないことだと思っている。研修会については、先ほど実施すると決定したので、改めて考えさせてもらいたい。

【松苗正二会長】

三区合同研修会については、賛成多数で実施するとの意思決定ができた。

【吉野誠一委員】

三区合同研修会を実施することを前提に参加するかどうかを決めるのではなく、実施するかしないかを安塚区の意見としてまとめるのではないかと。

【松苗正二会長】

安塚区としては実施されるのであれば参加したいということである。

【吉野誠一委員】

承知した。

【松苗正二会長】

決定すべき事項は以上である。

【吉野誠一委員】

1点意見をお願いしたい。三区合同研修会を実施する場合であっても、講師については、県をまたぐ移動を要する講師は避けてもらいたい。

【松苗正二会長】

吉野委員から御意見をいただいたので、安塚区の総意として大島区へ伝えることとしたい。意見として伝えるが、相手があることなので、その点は御承知おきいただきたい。

他に御意見はあるか。

(意見なし)

それでは、三区合同研修会について、安塚区地域協議会の意見として、実施される場合は参加したい旨を大島区へ伝えさせていただく。

続いて、安塚区地域協議会としての審議内容について、確認を行う。事前に事務局へ審議依頼書の提出はあったか。

【大橋次長】

事前の提出はない。

【松苗正二会長】

今回審議依頼書の提出はなしということで、審議依頼事項がある場合は、また次回協議会開催日の1週間前までに事務局へ提出をお願いしたい。

次に4その他(1)次回協議会の開催日について、確認する。通常であれば次回は9月22日(火)午後7時から開催となるが、祝日に当たるため、翌週の9月29日(火)午後7時からの開催でよろしいか。

(「はい」の声多数)

次回は9月29日(火)午後7時から開催とする。

【山岸重正委員】

都合が悪い方もいるかもしれないため、確認した方が良いのではないか。

【松苗正二会長】

先ほど確認したところであるが、再度確認する。御都合のつかない方はいるか。

(意見なし)

それでは、次回は9月29日(火)午後7時から開催とする。

その他、何か連絡事項等はあるか。

【萬羽主事】

配布資料について報告。

【松苗正二会長】

会議の閉会を宣言

9 問合せ先

安塚区総合事務所総務・地域振興グループ TEL : 025-592-2003 (内線 23)

E-mail : yasuzuka-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せて御覧ください。